

# 民安ダム サクラの森づくりの会

## 次世代に引き継げるサクラの森を目指して

### 活動背景・目的

天塩町のシンボルとなる民安ダムの湖畔周辺にサクラの木を植樹、町民に永く親しまれる憩いの場に

2002年から農業用として供用開始された「民安ダム」は、日本海と利尻富士を望むことができるダムです。恵まれた立地を生かし、町民の憩いの場として、また天塩町のシンボルとして「サクラの森」を作ることを目的に、1999年に会が発足しました。

### 活動内容

#### 【植樹活動】

- 毎年 100 本前後を植樹。天塩町の木エンヤマザクラを主体として、これまでに約 3,700 本の植樹を行っています。(令和6年現在)
- 気象条件が厳しい天塩町では、サクラの群生は難しいとされてきたが、会では 10,000 本のサクラの森づくりを目指して活動を展開しています。
- 民安ダム周辺のサクラ活着率はあまり芳しくないが、半数以上は生育しており、植樹時期にはサクラを見て楽しむことができるようになりました。
- 2002 年からは地元中学生も植樹に参加。森づくりの次世代への引き継ぎも始まっています。

#### 【保育事業】

- 下草刈りや野ネズミ駆除などを行いながら苗木を管理しています。

#### 【学習の場の提供】

- 景観の維持・形成に関する教育の一環として、中学一年生の総合学習授業とし、2008年からは植樹に際し、一時限授業を行い森林環境保全整備事業の大切さや森林の持つ機能をはじめとし、サクラに関する事など植樹の方法を行ってきています。

### 活動分類

■自然保全・地域振興

代表者:谷村 敏彦

連絡先:谷村 敏彦 (会長宅)

〒060-0033

札幌市中央区北3条東 12 丁目 99-2

ヴェルビュ苗穂北3条通りウエストタワー315号

TEL:090-1524-2685

天塩町役場農林水産課への問い合わせも可能

活動地区:天塩町



▲補植を含めた植え付け作業の様子



▲総合学習授業の様子

### 今後の展望・課題など

- 民安ダム周辺を憩いの場として管理をするうえで、市街地より距離があるため、悪天候に対する避難場所等の設置が必要。また、小中学生を取り巻いた学習の場に設置するなど、観光の名所としては基より、数多くの町民が足を運べるよう、環境を保持していく。
- サクラの苗木を管理するうえで、動物等の被害防止に努めていくことと、補植の繰り返しが必要。